

市長とトーク



市民の皆さんと市長が対話する取り組みを紹介します。

[詳細](#) 市民の声を聞く課 ☎211-2042

サッポロスマイルトークを6/25に開催しました

市政に関するテーマについて、市民の皆さんと市長が誰でも立ち寄れる場所で対話。率直な意見交換を通して、今後のまちづくりのアイデアを見つけていく取り組みです。

第1回 動物園から考える札幌の未来

本年6/6に制定した動物園条例の意義や、動物園の役割、動物福祉などをテーマに、4人の方と市長が対話しました。



話し合われた内容の一部を紹介

動物園のことを定義した条例は全国で初めて。条例に基づいて、動物本来の生活スタイルを守ることが良好な動物福祉につながる。動物園と市民が、共に学んで共に活動することで、円山動物園はさらに進化していこう。



環境局参与
小菅正夫氏

生物多様性の保全など、動物園の役割を明らかにする条例ができ、動物園に関わる人が代わっても、理念を引き継げるようになった。動物園が、さらに社会の多様性に歩み寄り、誰もがより気軽に行ける場所になれば良い。



酪農学園大学教授
遠井朗子氏

動物園は子どもからお年寄りまで、幅広い年代の人が非日常を体感できる貴重な場所。動物が元気に暮らせるように、皆さんとも協力しながら、これまで行ってきた、野菜を提供するボランティア活動などを続けていきたい。



円山動物園PR
大使/シンガー
佐藤広大氏

動物がその動物らしく、生き生きと暮らせることが大切。飼育員の方が動物福祉の向上に時間を費やせるよう、学生団体の活動として獣舎清掃のボランティアなどを行うことで、これからも支援していきたい。



命と自然の学生
基地代表
鈴木なお氏

動物園は環境問題や動物の生活を考えるきっかけとなる場であり、国際水準で飼育環境を整えていかなければならないと改めて感じた。条例に基づく動物園の取り組みを、市民の皆さんと一緒に発展させていきたい。



札幌市長
あきもと かつひろ
秋元克広

ホームページから、当日の内容を動画で視聴できます

[サッポロスマイルトーク](#) [検索](#)



広告